



隣近所で支え合い、住んで良かった朝陽地区！

発行 朝陽地区社会福祉協議会  
共催 朝陽地区住民自治協議会  
社会福祉部会  
長野市大字北尾張部226-9

令和7年度各地区の福祉活動を振りかえる。地区福祉推進員支部長からひとつ  
テーマは①1年間の活動を振り返って②地域福祉活動の中で思うことのどちらか

## 南屋島



南屋島は、月2回開催のはつらつ体操を中心に、お茶のみサロン、福祉懇談会を企画開催してきました。区民のふれあい、安心安全、健康維持を目標にしてきました。今年はボランティア活動「DOYABOカフェ」の活動が順調になり、区民の新しいふれあい、憩いの場所として根付いてきています。

## 北屋島

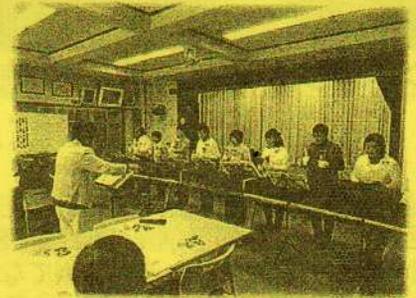


普段地域の活動などに関わりの少ない者にとって、福祉活動は考えさせられる場面が多く、自身が何も見えていない実感するとともに、多様で難しい問題と思いました。

## 北長池



長いようで短い1年だったような気がします。役員の方々の協力があってのでやって来れました。本当にありがとうございました。



## 北尾張部



地域福祉活動のなかで思うこと  
地域福祉活動を進める中で、参加者の固定化や担い手不足などの難しさも感じています。それでも対話を重ね、少しずつ理解と協力の輪を広げていきたいと思ひます。

## 石渡



今年度は、新規事業として「~~つ~~昨年~~の~~写真で~~す~~いわた」を11月24日に開催しました。イベントとして、落語(AM)・紙芝居(PM)を催し、大好評でした。また、ベトナムコーヒーの無料提供、区民の方からの自家製漬物や切り花などの差入れがあり、参加の皆様は、各々交流を深めていました。

## 南堀

一年を振り返ると忙しい時もありましたが、楽しく活動できたと思ひます。参加者をサロンにお連れする「足」の確保が最大の懸念です。参加者の事故ゼロが目標です。



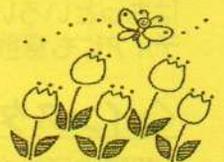
## 北堀



集まって、楽しいおしゃべりして、体操して、お茶して、笑顔で帰られる姿に接すると、こちらまで心が温かくなります。福祉とは人と人との伴を大切にする活動だと実感します。

## 桜新町

年6回のお茶のみサロンでは手品・演奏会・レコード鑑賞・ポッチャなど多彩な催しを通じて地域のつながりを深め、参加者が安心して語り合える温かな交流の場をつくることができました。

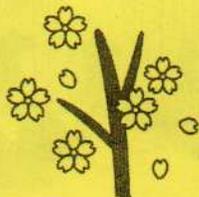
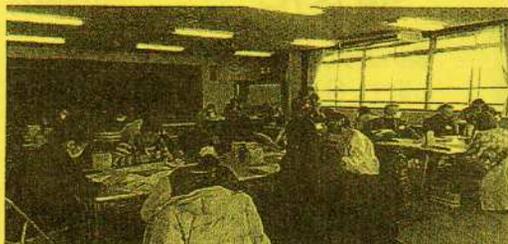


朝陽の地域福祉の最前線で様々な事業や活動を行ってきました

## ◇ボランティア 交流会 1月28日(水)



朝陽地区でボランティア活動や居場所活動を継続的にされている23団体の代表の方々と信州大学附属特別支援学校で学習支援ボランティアの方、合計40名の参加で交流会を開催しました。皆さんの活動の発表後、コーヒーボランティアが淹れてくれた美味しいコーヒーを飲み、団体同士でコラボしようと盛り上がりました。



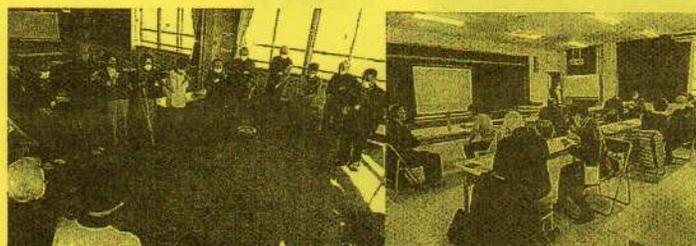
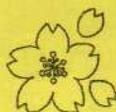
## ◇ボランティア講座 傾聴実践編 2月5日(木)・2月26日(木)

長野保健医療大学教授 春原み先生をお招きし2回にわたって「傾聴講座-実践編」を開催した。

1回目は「コミュニケーションってなんだろう」とワークで実感する体験と傾聴とはその目的や効果についても学びました。

2回目は、『良い聴き手』になるには?を中心に2名でのワークを行い様々な課題を実感しました

二人で話を聴きあうワークは、テーマとは別の話題が盛り上がったり、日常のコミュニケーションとは異なる手法の傾聴のスキルに戸惑ったり、奥の深い楽しい講座の時間でした。



さらに3月朝陽地区内の高齢者施設へ希望者の方々が傾聴ボランティア体験に参加し、傾聴の実践を体験しました。現場の実践は新鮮で、参加者の方々はもっといろいろな方のお話を聴きたいとボランティアにも意欲的でした。

## ◇インスタグラム始めました。

朝陽地区社会福祉協議会のインスタグラムを開設しました。開催した行事などの写真を、少しずつ上げています。ぜひご覧ください。



Instagram



NAGANO.ASAHI

アカウント名

朝陽地区  
社会福祉協議会  
nagano.asahi

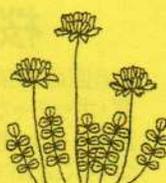
## ◇認知症講座 早めに気付こう認知症 2月19日(木)参加28名



長野市の地域包括ケア推進課中村様から認知症についての基礎知識や長野市の相談窓口やサービス等の説明がありました。コンフォートきたながいけ 精神保健福祉士 宮澤恭子さんからは、地域の相談窓口の地域包括支援センターについて、また様々な事例をもとにお話してくださいました。事例では、早期に気づき受診することで、認知症の進行に上手に対応できたお話など、伺えました。認知症の早期発見には家族やご近所との関係性も大切な一つです。ささえあい、見守る関係を大切にしていきたいと思います。

## ◇地域デビュー講座2月25日(水) 珈琲の淹れ方楽しみ方講座

大切な誰かのために美味しいコーヒーを入れようと今回17名参加、女性参加者も増えてきました。ペーパードリップで淹れる基本的な珈琲の淹れ方を学びました。器具による違い、コーヒー豆の特徴とテイスティングやフードペアリングを行いました。グループごとそれぞれの相手にコーヒーを入れると同じ条件でも、みなそれぞれ少しずつ味が異なるなど、コーヒーの奥深さもみんなで味わいました。



社協だより・事業等のお問い合わせは  
朝陽地区社会福祉協議会  
事務局：電話213-6170 まで  
メール：j-asahi1906@orion.ocn.ne.jp